

**令和2年度 JST情報サービス利用者の満足度調査  
(J-STAGE機関向け)**

# ■ 目次

2頁	■ 目次
3頁	■ 調査概要
	【詳細編】
5頁	■ J-STAGE 情報発信への役立ち度
6頁	■ 情報発信に役立っている理由
7頁	■ 情報発信に役立っていない理由
8頁	■ 国際的な情報発信力強化への役立ち度
9頁	■ 国際的な情報発信力強化に役立っている理由
10頁	■ 国際的な情報発信力強化に役立っていない理由
11頁	■ コロナ禍以降、J-STAGE利用頻度の変化
12頁	■ 情報発信に特に役立っている機能
13頁	■ J-STAGE 以外で利用しているJST情報サービス
14頁	■ 連携により自誌閲覧数上昇が考えられるサービス
15頁	■ 全文XML 利用状況・移行予定
16頁	■ 全文XML形式への移行を考えていない理由
17頁	■ 全文XML作成ツール 利用意向・対応ファイル形式
18頁	■ エンバーゴ・認証設定有無
19頁	■ エンバーゴ設定期間
20頁	■ 認証設定期間
21頁	■ エンバーゴ・認証設定理由
22頁	■ エンバーゴ・認証設定 今後の方針
23頁	■ 二次利用取扱い方法の明記有無
24頁	■ プレプリントサーバで公開された原稿の自誌への投稿承認状況
25頁	■ 投稿受付時のプレプリントチェック状況
26頁	■ プレプリント方針の明記予定
27頁	■ プレプリント論文引用の許容状況
28頁	■ プレプリントサーバ連動サービスへの期待
29頁	■ よく利用しているプレプリントサーバ
30頁	■ 研究データの取扱い規程有無
31頁	■ データリポジトリ 利用意向
32頁	■ 役に立ちそうな情報
33頁	■ 広報媒体・イベントでよく閲覧するもの

# ■ 調査概要

## 調査目的

国立研究開発法人科学技術振興機構が提供する主要な情報サービスについて、各サービスの利用状況、認知度、利用シーンや類似サービスとの比較・選択状況を明らかにするための調査を実施し、結果を事業企画に活用する。

## 対象者条件

J-STAGEで資料を公開している機関

## サンプル数

551件（519件） \*（ ）は重複回答を除いた集計対象件数

## 調査手法

インターネット調査

## 調査期間

2021年2月8日（月）～2021年3月9日（火）



## 詳細編

---

# ■ J-STAGE 情報発信への役立ち度

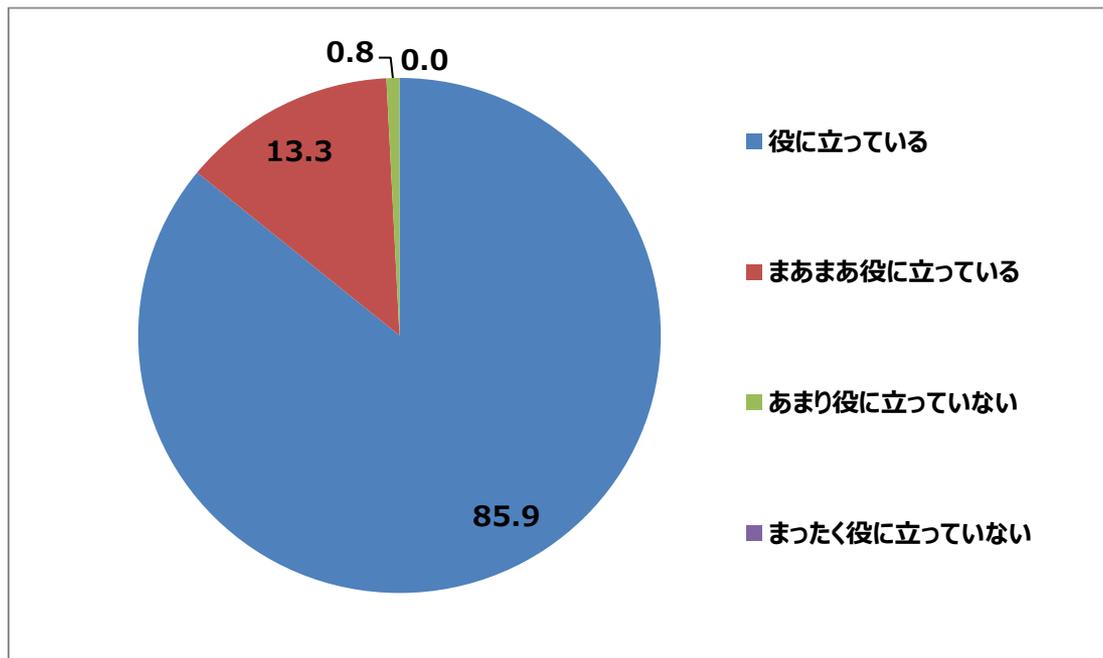
問1. J-STAGEは貴誌の情報発信に役立っていると思いますか。(1つ選択)

- J-STAGEの役立ち度は、「役立っている」が85.9%と最も高かった。「まあまあ役立っている」を含めたポジティブな回答は、99.2%を占め、大多数が満足した様子が伺える。

役に立っている 計	99.2
役に立っていない 計	0.8

単位：%

N=519

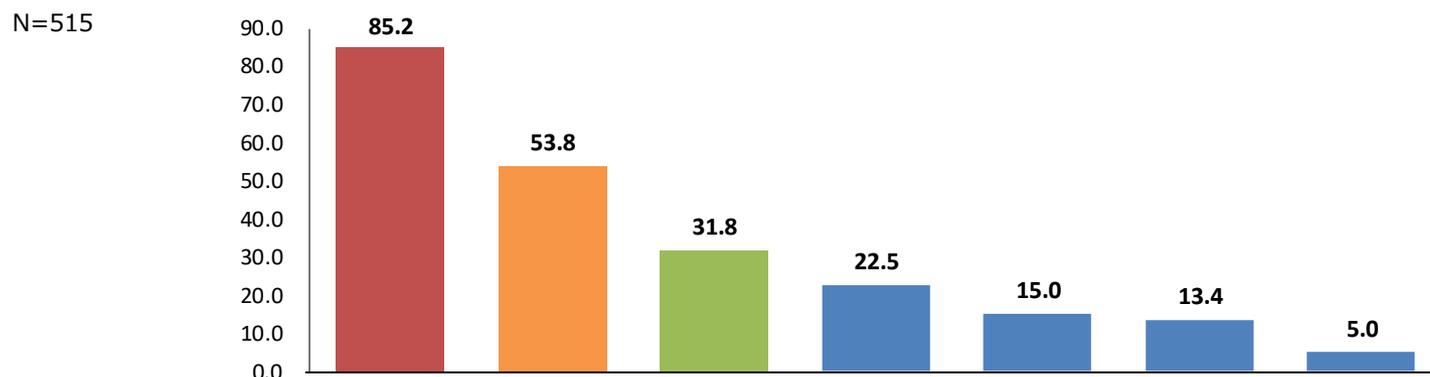


# ■ 情報発信に役立っている理由

問2. J-STAGEが貴誌の情報発信に役立っていると考えられる理由は何ですか。（複数選択可）

- 役立っていると考えている理由は、「電子データを公開できる」が85.2%と最も高く、次いで「DOI（デジタルオブジェクト識別子）を論文に付けられる」の53.8%、「J-STAGEに登載を始めてから閲覧数・引用数が増加した」の31.8%の順に続いている。

「役に立っている」「まあまあ役に立っている」回答者



N	電子データを公開できる	DOI（デジタルオブジェクト識別子）を論文に付けられる	J-STAGE掲載開始時から閲覧数が増加した	早期公開ができる	J-STAGE掲載開始時から掲載	冊子体では提供できない電子データは録音公開	その他	
全体	515	85.2	53.8	31.8	22.5	15.0	13.4	5.0

n=30以上で  
■ 項目内で1位  
■ 項目内で2位  
■ 項目内で3位

※全体値を降順に並び替え  
 ※単位：%

# ■ 情報発信に役立っていない理由

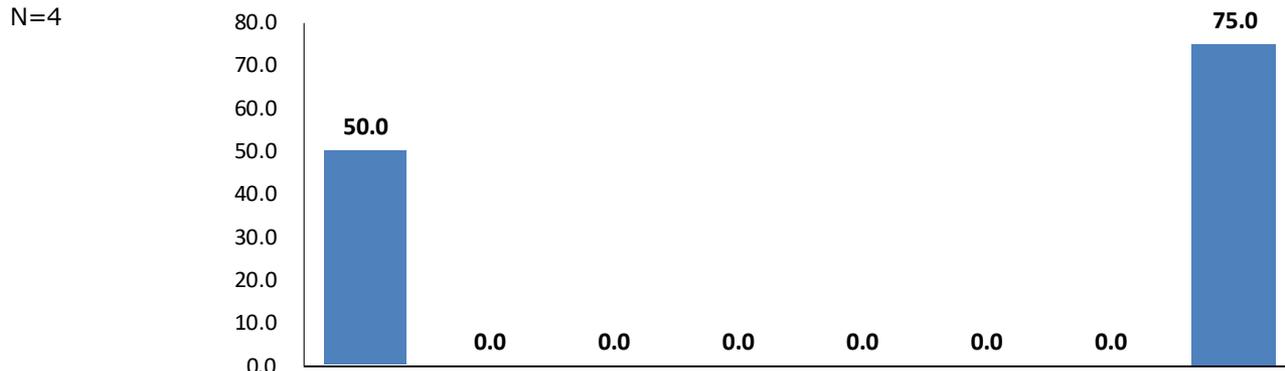
問3. J-STAGEが貴誌の情報発信に役立っていないと考える理由は何ですか。(複数選択可)

- 役立っていないと考える理由は、「発行機関内でJ-STAGE公開を運用する体制が確立していない」が50.0% (2件) という結果。「その他」が75.0% (3件) であるが、少数となっている。

※小サンプルのため、コメントにも件数を併記。

「あまり役に立っていない」「まったく役に立っていない」回答者

※順位表示はその他を除く



	N	発行機関内でJ-STAGE公開を運用する体制が確立していない	利用開始から間がない	(使いこなせていない)	(認証設定が複雑)	報(使いこなせていない)	れ投稿数に変化が見られない	化閲覧数・引用数に変	その他
全体	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0

※n=30未満の為参考値扱い

※全体値を降順に並び替え

※単位: %

# ■ 国際的な情報発信力強化への役立ち度

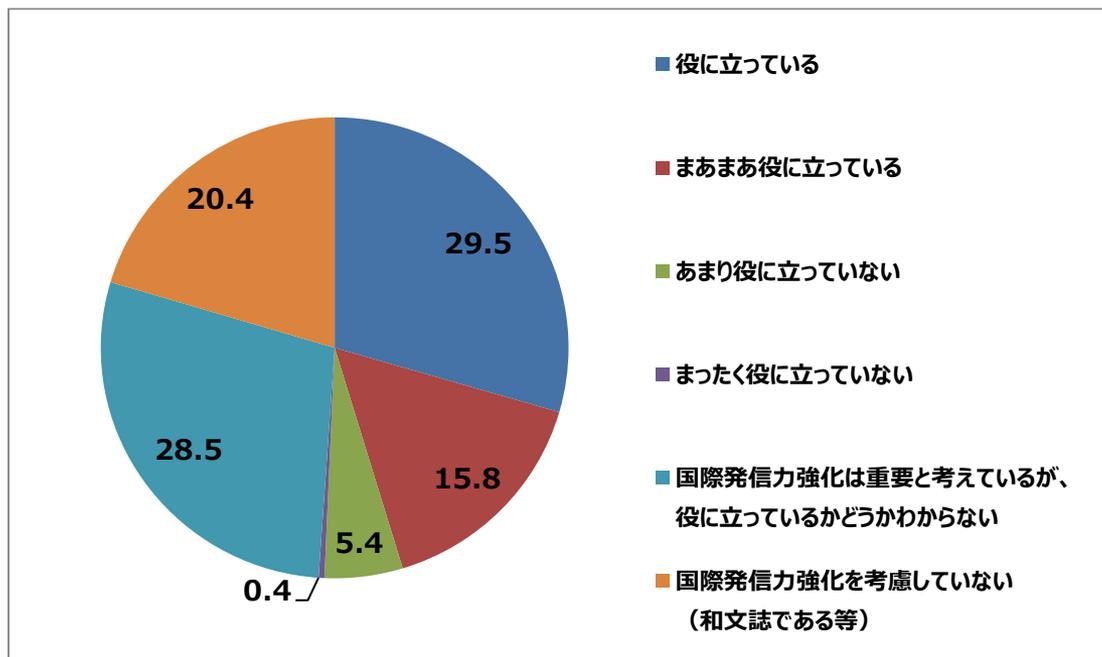
問4. J-STAGEは貴誌の国際的な情報発信力の強化に役立っていると思いますか。（1つ選択）

- 国際的な情報発信力強化への役立ち度は、「役に立っている」が29.5%と最も高く、「まあまあ役に立っている」を含めたポジティブな回答は45.3%であった。

役に立っている 計	45.3
役に立っていない 計	5.8

単位：%

N=519

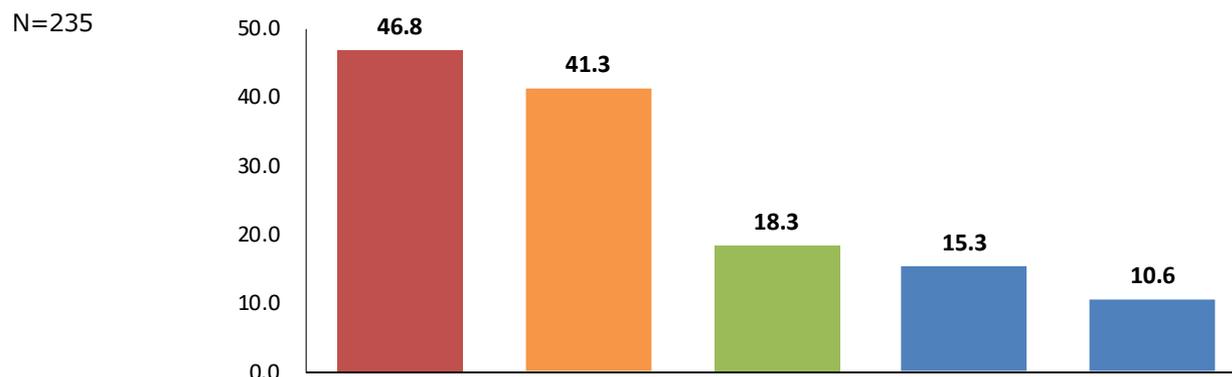


# ■ 国際的な情報発信力強化に役立っている理由

問5. J-STAGEが貴誌の国際発信力強化に役立っていると考えられる理由は何ですか。(複数選択可)

- 国際発信力強化に役立っていると考えられる理由は、「海外からの閲覧数・引用数が増加した」が46.8%と最も高く、次いで「検索エンジンや海外の情報サービスからアクセスされるようになった」の41.3%、「海外からの問合せが増加した」の18.3%の順に続いている。

「役に立っている」「まあまあ役に立っている」回答者



	N	理由				
		海外からの閲覧数・引用数が増加した	検索エンジンや海外の情報サービスからアクセスされるようになった	海外からの問合せが増加した	海外からの投稿数が増加した	その他
全体	235	46.8	41.3	18.3	15.3	10.6

n=30以上で  
■ 項目内で1位  
■ 項目内で2位  
■ 項目内で3位

※全体値を降順に並び替え  
 ※単位：%

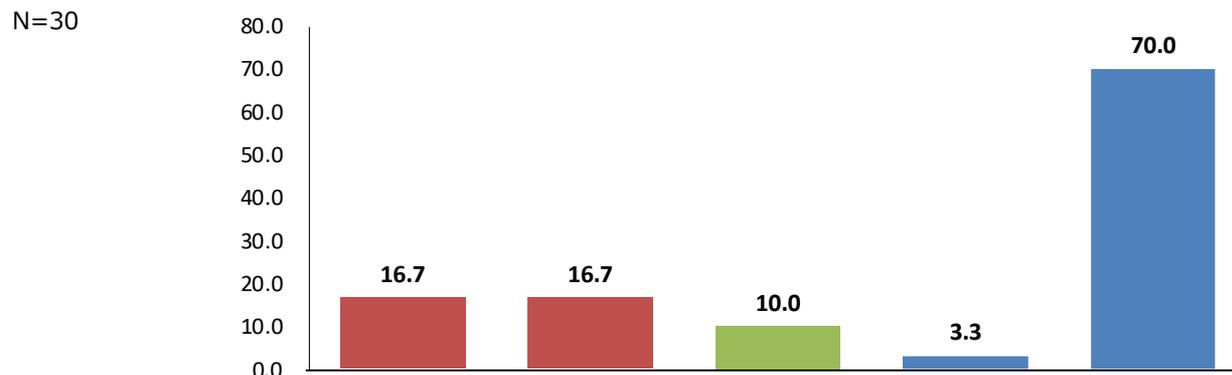
# ■ 国際的な情報発信力強化に役立っていない理由

問6. J-STAGEが貴誌の国際発信力強化に役立っていないと考える理由は何ですか。（複数選択可）

- 国際発信力強化に役立っていないと考える理由は、「J-STAGEのサイトデザインが海外向けでないため」「J-STAGEの機能・サービスを十分活用できていないため」が同率の16.7%と最も高く、次いで「J-STAGEのプロモーション・PRが足りないため」の10.0%の順に続いている。「その他」は、具体的には「和文誌であるため（論文が日本語のため）」という回答が多かった。

「あまり役に立っていない」「まったく役に立っていない」回答者

※順位表示はその他を除く



N	向イJ けト- でデS なザT いイA たンG めがE 海の 外サ	め活能J 用・- でサS き T てビA いスG なをE い十の た分機	が口J 足モ- り S なシT いヨA たンG め・E Pの Rブ	が能J 不( - 十引S 分用T なりA たンG めクE 等の 機	そ の 他	
全体	30	16.7	16.7	10.0	3.3	70.0

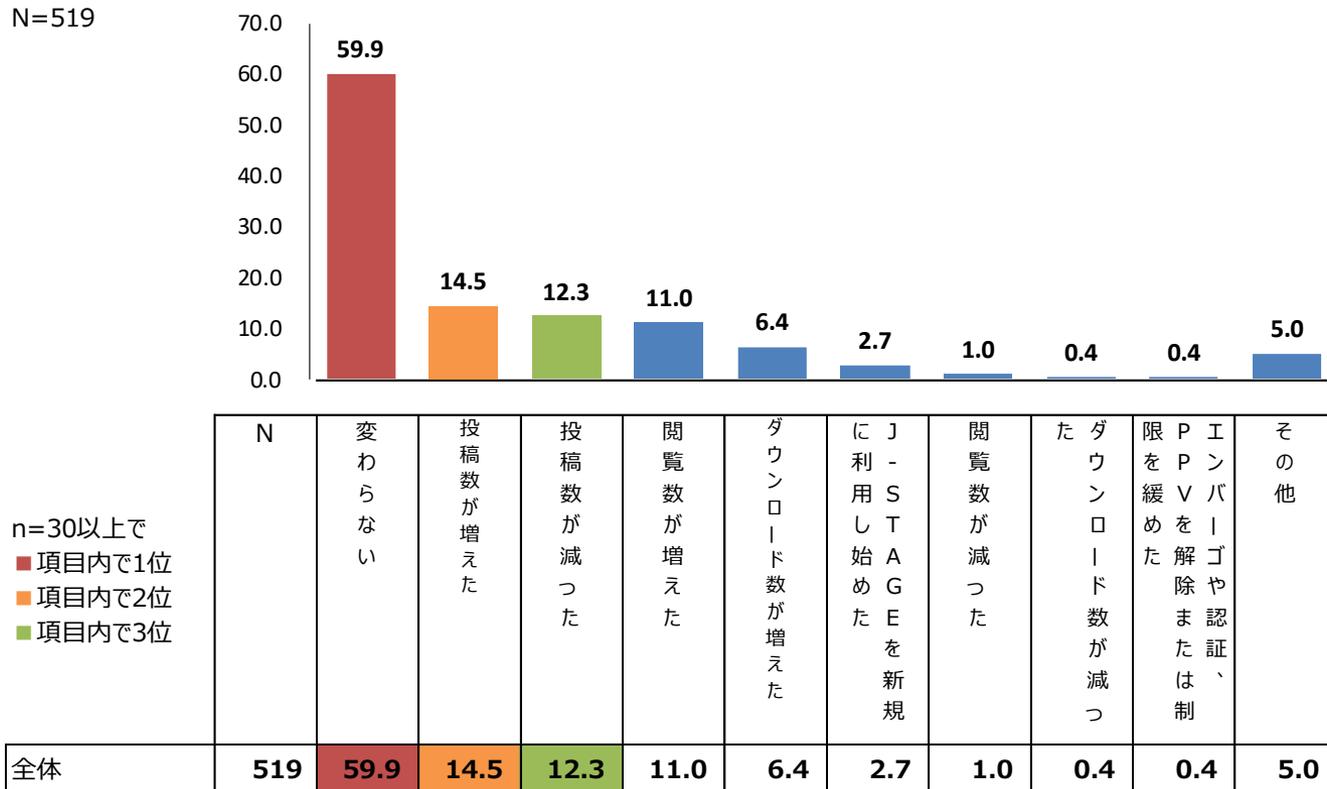
n=30以上で  
■ 項目内で1位  
■ 項目内で2位  
■ 項目内で3位

※全体値を降順に並び替え  
 ※単位：%

# ■ コロナ禍以降、 J-STAGE利用頻度の変化

問7. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行以降、貴誌の状況に変化はありましたか。（複数選択可）

- コロナ禍以降、J-STAGEの利用頻度は、「変わらない」という回答が59.9%と最も高く、多数を占めた。次いで「投稿数が増えた」の14.5%、「投稿数が減った」の12.3%の順が続いている。



※全体値を降順に並び替え

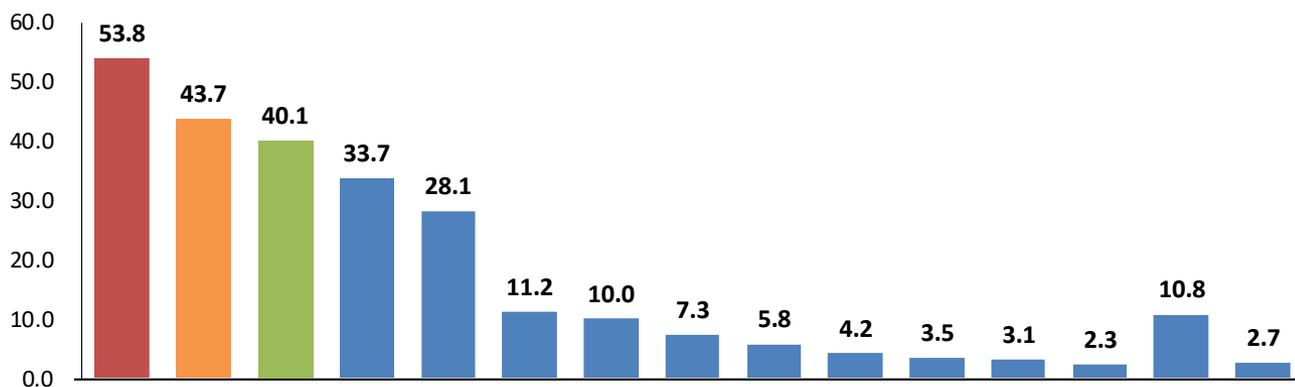
※単位：%

# ■ 情報発信に特に役立っている機能

問8. J-STAGEで貴誌の情報発信をする上で、特に役立っていると考える機能を教えてください。（複数選択可）

- J-STAGEで特に役立っている機能は、「引用文献リンク」が53.8%と最も高く、次いで「詳細検索機能（論文記事の検索機能）」の43.7%、「文献情報のダウンロード機能」の40.1%の順に続いている。

N=519



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

N	引用文献リンク	詳細検索機能（論文記事の検索機能）	文献情報のダウンロード機能	アクセスランキング表	最新号記事表示	MY J-STAGE（アラート機能、ブックマーク機能、閲覧履歴表示等）	おすすめ記事表示	閲覧履歴表示	ジャーナル紹介文	ワイジェットエリア（資料トップページ等の右側に配置、お知らせ等の表示が可能）	「Mendeleev」との連携	編集委員紹介	SNS連携機能	特になし	その他	
全体	519	53.8	43.7	40.1	33.7	28.1	11.2	10.0	7.3	5.8	4.2	3.5	3.1	2.3	10.8	2.7

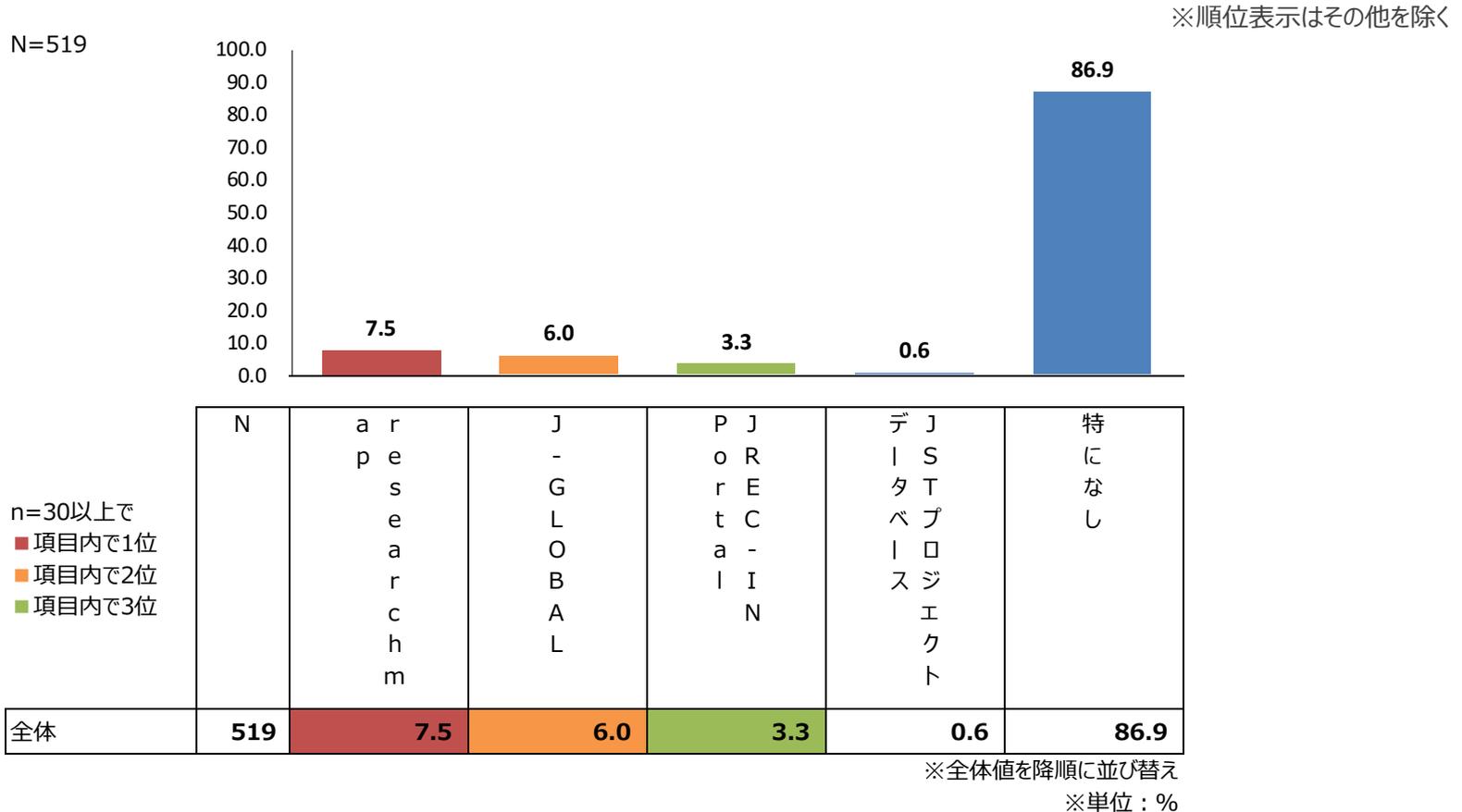
※全体値を降順に並び替え

※単位：%

# ■ J-STAGE 以外で利用しているJST情報サービス

問9. J-STAGE以外で使っているJST情報事業のサービスはありますか。(複数選択可)

- J-STAGE以外で使っているJST情報事業のサービスは、全体の86.9%が「特になし」を選んでいる。使っている中でのサービスは「researchmap」が7.5%、「J-GLOBAL」が6.0%、「JREC-IN Portal」が3.3%という結果となっている。

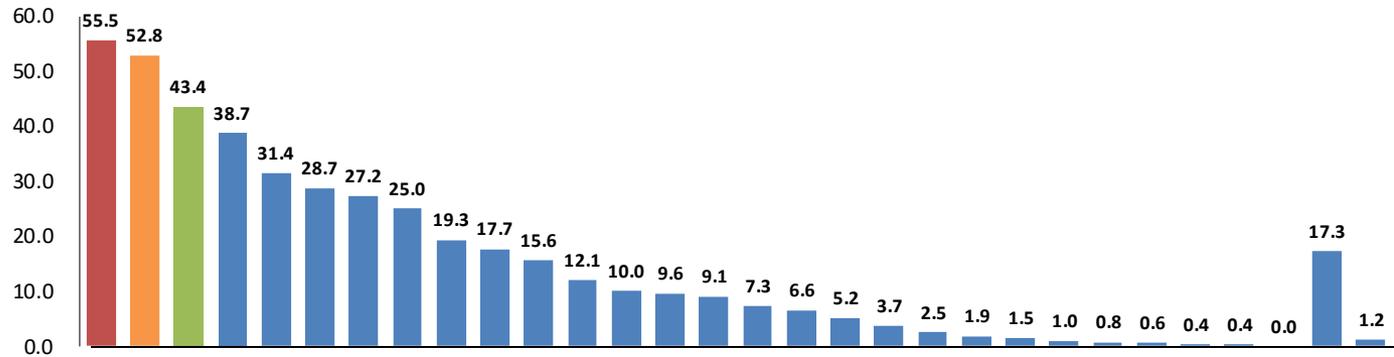


# ■ 連携により自誌閲覧数上昇が考えられるサービス

問10. J-STAGEが連携を強化することで、貴誌の閲覧される可能性が高くなると考えられるサービスをお選びください。（複数選択可）

- 連携強化、新規連携により自誌の閲覧される可能性が高くなると思われるサイトは、「Google Scholar (Google)」が55.5%と最も高く、次いで「CiNii (国立情報学研究所)」の52.8%、「Googleサーチ (Google)」の43.4%の順に続いている。

N=519



n=30以上で  
■ 項目内で1位  
■ 項目内で2位  
■ 項目内で3位

N	(Google Scholar)	CiNii (国立情報学研究所)	Googleサーチ (Google)	国立国会図書館サーチ (国立国会図書館)	クラリベイト・アナリティクス (Elsevier)	J-GLOBAL (JST)	PubMed (NLM)	医中誌Web (医学中央雑誌刊行会)	ResearchGate (NLM)	MEDLINE (NLM)	Crossref (PILA)	メディカルオンライン (メテ)	PMC (NLM)	Child (JISC)	Journal Discovery (EBSCO)	DOAJ	SciFinder (CAS)	国会図書館 (国立)	東日本大震災アーカイブ (国立)	CAS Full Text Options	Journal of Electronic Publishing (JEP)	Journal of Electronic Publishing (JEP)	学術情報研究所 (KISTI 韓国)	域事務局 (WHO 西太平洋)	PRISM (Copyright Clearance Center)	Copyright Clearance Center	Promote (LLC)	Ex Libris	Primo Central	OCLC	TRID (TRB)	特になし・わからない	その他		
全体	519	55.5	52.8	43.4	38.7	31.4	28.7	27.2	25.0	19.3	17.7	15.6	12.1	10.0	9.6	9.1	7.3	6.6	5.2	3.7	3.7	2.5	1.9	1.9	1.5	1.0	1.0	0.8	0.8	0.6	0.4	0.4	0.0	17.3	1.2

※全体値を降順に並び替え  
 ※単位：%

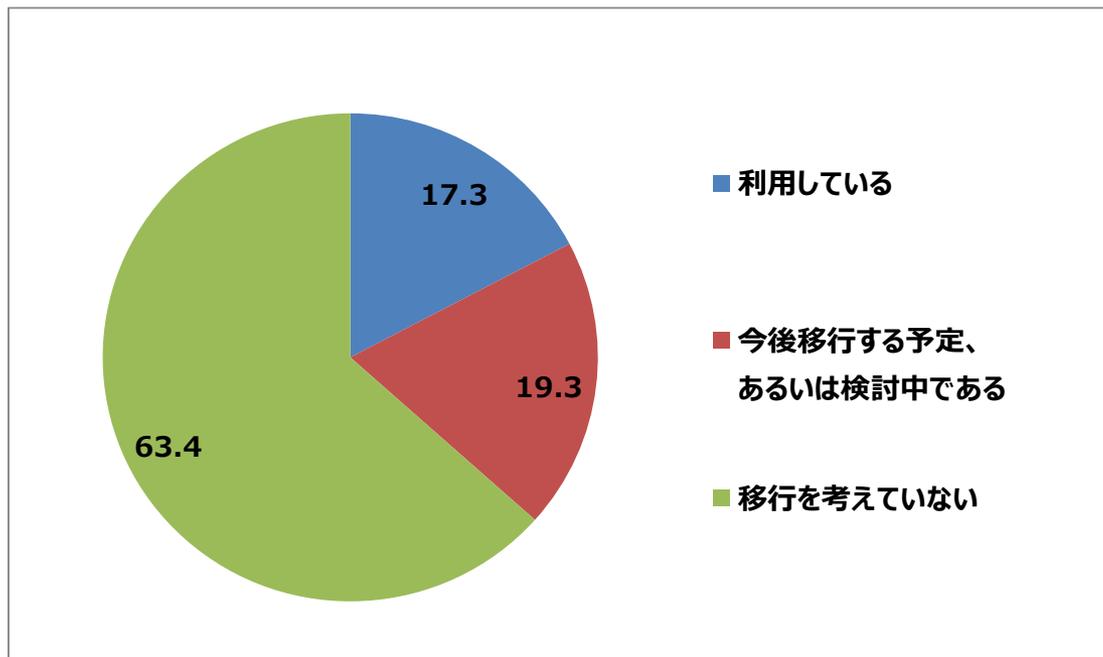
## ■ 全文XML 利用状況・移行予定

問11. J-STAGEでは掲載誌の発信力を強化するため全文XML化を推進しています。貴誌における全文XMLの利用状況及び移行予定について教えてください。（1つ選択）

- 全文XMLについて、全体の63.4%が「移行を考えていない」という回答であった。利用者は17.3%に留まった。

N=519

単位：%

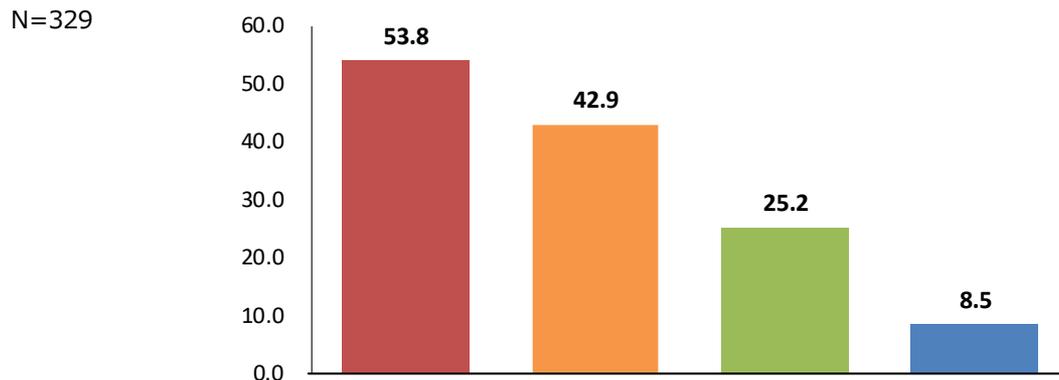


# ■ 全文XML形式への移行を考えていない理由

問12. 全文XML形式への移行を考えていない理由を教えてください。(複数選択可)

- 全文XML形式への移行を考えていない理由は、「全文はPDF形式の公開で十分と考えている」が53.8%と最も高く、次いで「全文XML形式の利点がよくわからない」42.9%、「全文XMLデータを作成するコストが高い」の25.2%の順が続いている。

「移行を考えていない」回答者



N	い公全 る開文 では 十P 分D とF 考形 え式 ての	点全 が文 よX くM わL か形 ら式 なの 利	い作全 成文 すX るM コL スデ トー がタ 高を	そ の 他	
全体	329	53.8	42.9	25.2	8.5

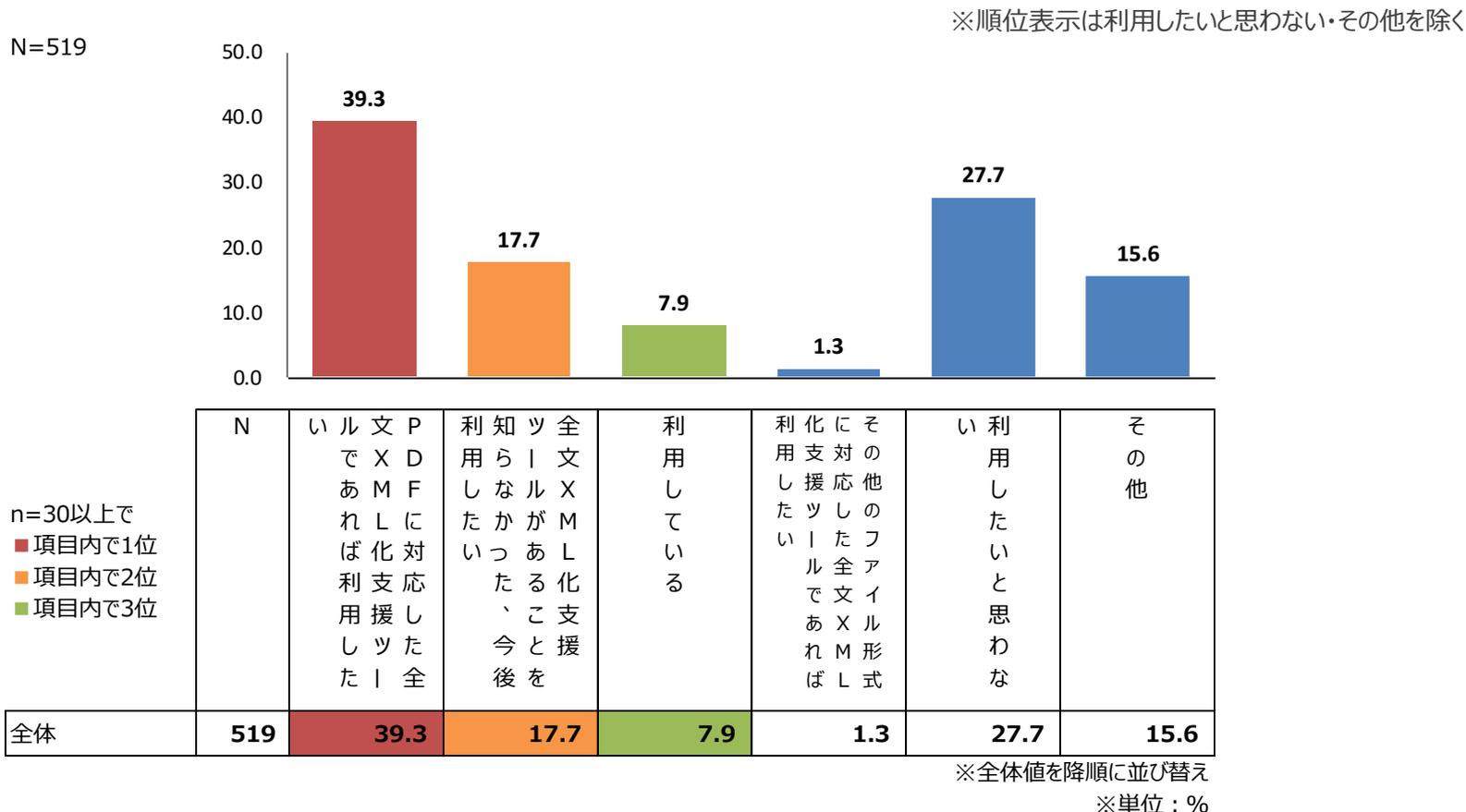
n=30以上で  
■ 項目内で1位  
■ 項目内で2位  
■ 項目内で3位

※全体値を降順に並び替え  
 ※単位：%

# ■ 全文XML作成ツール 利用意向・対応ファイル形式

問13. J-STAGEは、WordやLaTeX形式の文書ファイルから全文XMLデータを作成する全文XML化支援ツールを提供しています。この全文XML作成ツールを利用していますか。また、どのようなファイル形式に対応しているとよいですか。（複数選択可）

- 全文XMLデータの作成を支援するツールの利用意向、およびその対応ファイル形式は、「PDFに対応した全文XML化支援ツールであれば利用したい」が39.3%と最も高く、次いで「全文XML化支援ツールがあることを知らなかった、今後利用したい」の17.7%、「利用している」の7.9%の順に続いている。



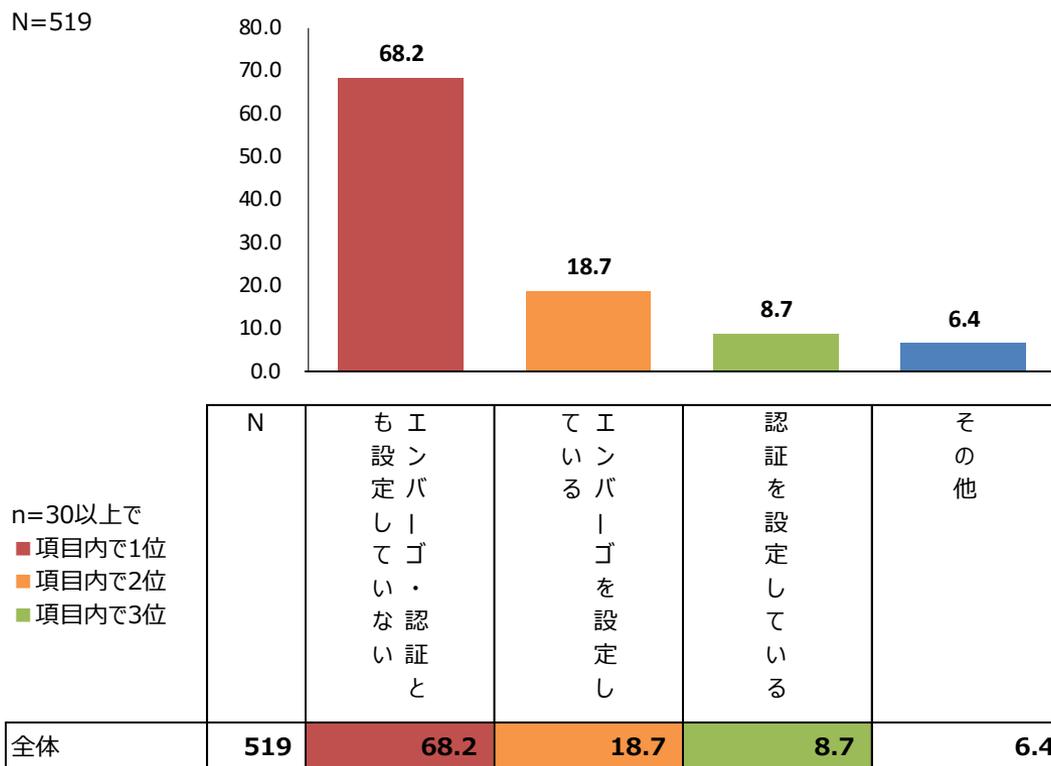
# ■エンバーゴ・認証設定有無

問14. J-STAGEでは、科学技術刊行物を速やかに、かつオープンアクセスで公開することを推進しています。貴誌では、エンバーゴ\*1あるいは認証\*2を設定していますか。設定している場合、その期間を半角数字で入力してください。認証を解除しない場合は99ヶ月と入力してください。（複数選択可）

\* 1 冊子発行からJ-STAGE公開までの期間（本アンケートにおいては、「J-STAGE公開」=「少なくとも書誌情報が閲覧可能な状態」と定義します）

\* 2 J-STAGE登載から認証解除までの期間

- エンバーゴ・認証設定有無については、「エンバーゴ・認証とも設定していない」が68.2%と最も高かった。「エンバーゴを設定している」は18.7%、「認証を設定している」は8.7%の順に続いている。



※全体値を降順に並び替え

※単位：%

# ■エンバーゴ設定期間

問14-1. J-STAGEでは、科学技術刊行物を速やかに、かつオープンアクセスで公開することを推進しています。貴誌では、エンバーゴ\*1あるいは認証\*2を設定していますか。設定している場合、その期間を半角数字で入力してください。認証を解除しない場合は99ヶ月と入力してください。（複数選択可）

\*1 冊子発行からJ-STAGE公開までの期間（本アンケートにおいては、「J-STAGE公開」=「少なくとも書誌情報が閲覧可能な状態」と定義します）

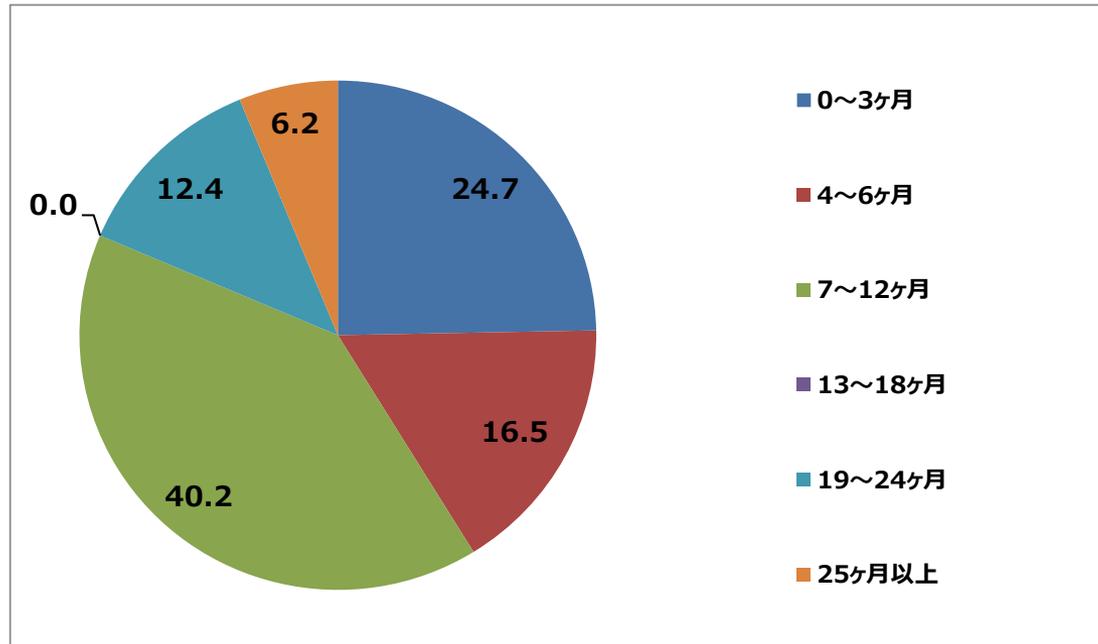
\*2 J-STAGE登載から認証解除までの期間

- エンバーゴ設定期間は、「7～12ヶ月」が40.2%と最も高く、次いで「0～3ヶ月」の24.7%、「4～6ヶ月」の16.5%の順に続いている。

「エンバーゴを設定している」回答者

N=97

単位：%



## ■ 認証設定期間

問14-2. J-STAGEでは、科学技術刊行物を速やかに、かつオープンアクセスで公開することを推進しています。貴誌では、エンバーゴ\*1あるいは認証\*2を設定していますか。設定している場合、その期間を半角数字で入力してください。認証を解除しない場合は99ヶ月と入力してください。（複数選択可）

\* 1 冊子発行からJ-STAGE公開までの期間（本アンケートにおいては、「J-STAGE公開」=「少なくとも書誌情報が閲覧可能な状態」と定義します）

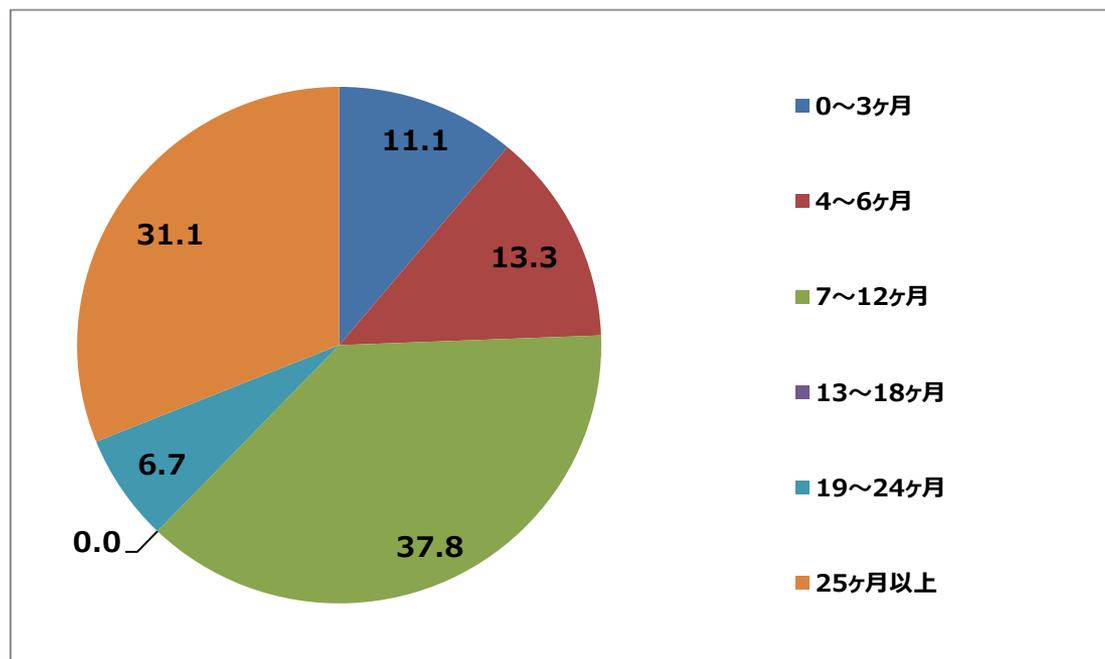
\* 2 J-STAGE登載から認証解除までの期間

- 認証設定期間は、「7～12ヶ月」が37.8%と最も高く、次いで「25ヶ月以上」の31.1%、「4～6ヶ月」の13.3%の順に続いている。

「認証を設定している」回答者

N=45

単位：%



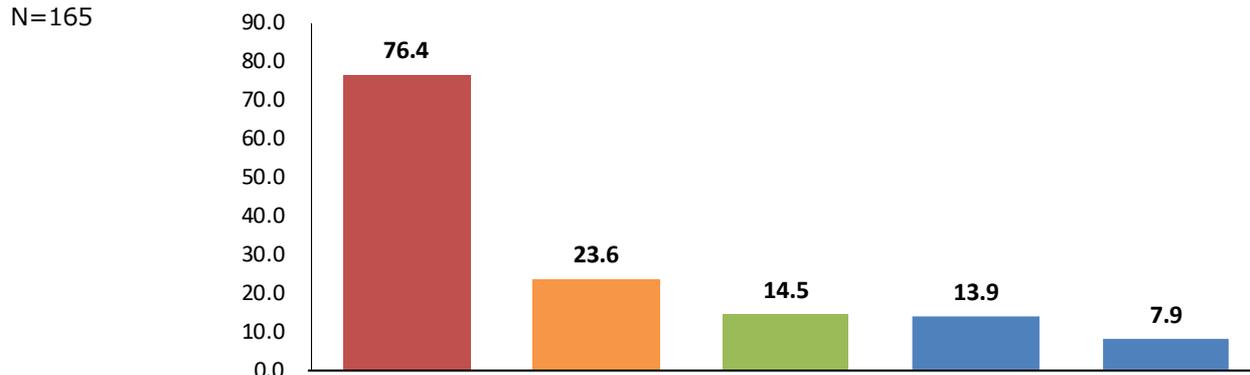
# ■エンバーゴ・認証設定理由

問15. エンバーゴや認証を設定している理由を教えてください。(複数選択可)

- エンバーゴや認証を設定している理由は、「会員へのメリットのため」が76.4%と最も高く、次いで「冊子、他サイトで有料のため」の23.6%、「学会の収入を確保するため」の14.5%の順に続いている。

「エンバーゴ、もしくは認証を設定している」回答者

N=165



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

	N	会員へのメリットのため	冊子、他サイトで有料のため	学会の収入を確保するため	公開作業に時間がかかるため	その他
全体	165	76.4	23.6	14.5	13.9	7.9

※全体値を降順に並び替え

※単位：%

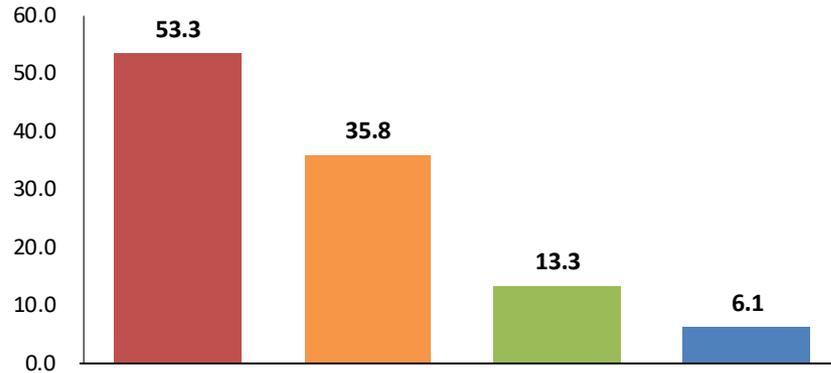
# ■エンバーゴ・認証設定 今後の方針

問16. エンバーゴや認証に関する今後の方針を教えてください。（複数選択可）

- エンバーゴや認証に関する今後の方針について、「エンバーゴ：引き続き設定する」が53.3%、「認証：引き続き設定する」が35.8%であった。

「エンバーゴ、もしくは認証を設定している」回答者

N=165



n=30以上で  
 ■ 項目内で1位  
 ■ 項目内で2位  
 ■ 項目内で3位

N	エンバーゴ：引き続き設定する	認証：引き続き設定する	エンバーゴ：廃止を検討する	認証：廃止を検討する
165	53.3	35.8	13.3	6.1

※全体値を降順に並び替え

※単位：%

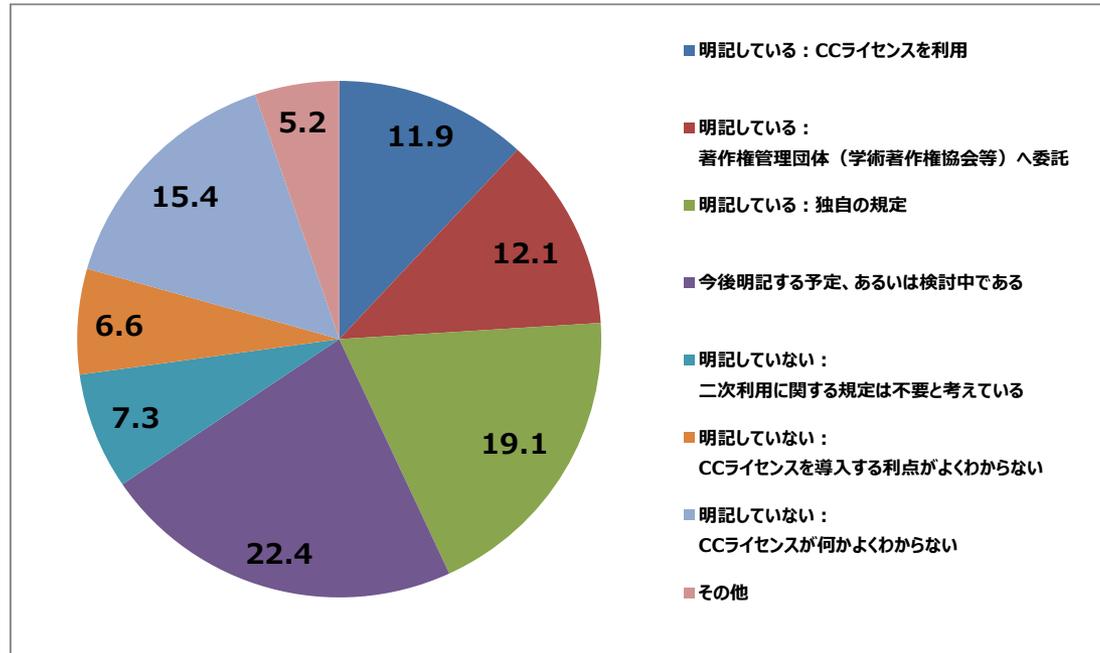
## ■ 二次利用取扱い方法の明記有無

問17. J-STAGEが推進する「オープンアクセス」は、インターネット上に論文等を無料公開し、二次的利用の範囲に関するライセンス情報を明記することで、誰もが障壁なくアクセスできることとしています。貴誌では、記事の二次利用を許可する範囲や条件を定め、投稿規程や論文等に明記していますか。（1つ選択）

- 二次利用取扱い方法の明記有無については、「今後明記する予定、あるいは検討中である」が22.4%と最も高く、次いで「明記している：独自の規定」の19.1%、「明記していない：CCライセンスが何かよくわからない」の15.4%の順に続いている。

N=519

単位：%



# ■プレプリントサーバで公開された原稿の自誌への投稿承認状況

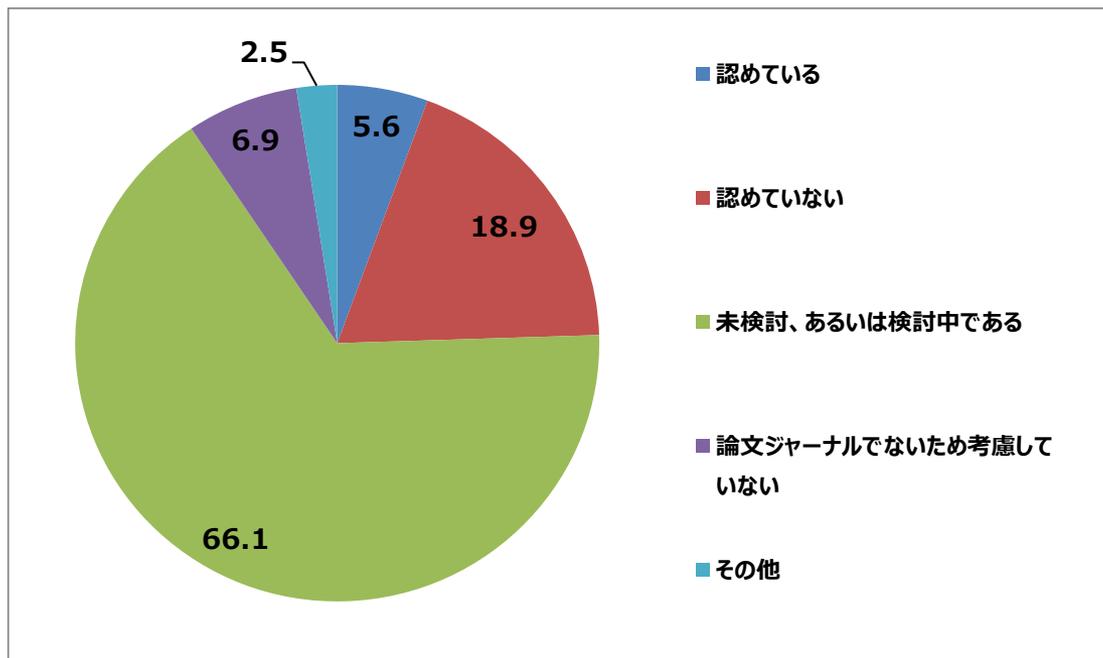
問18. J-STAGEではプレプリントサーバ\*の設置を検討しています。貴誌ではプレプリントサーバで公開された原稿の投稿を認めていますか。Webサイト上の投稿規程等で明記している場合は、そのURLをご記入ください。(1つ選択)

\* 学術雑誌で刊行される前の論文記事(プレプリント)をアップロード・公開するインターネット上のサーバ

- プレプリントサーバで公開された原稿の自誌への投稿承認状況については、66.1%が「未検討、あるいは検討中である」と回答した。「認めている」との回答は、全体の5.6%であった。

N=519

単位：%



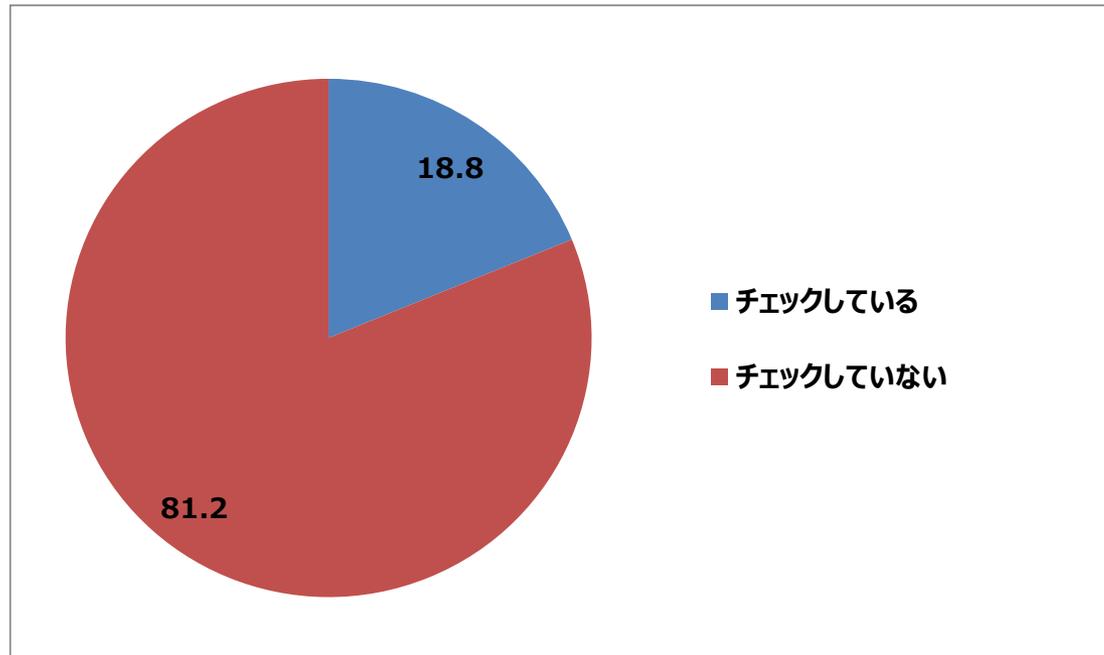
## ■ 投稿受付時のプレプリントチェック状況

問19. 投稿受付時に、原稿がプレプリントかどうかのチェックをしていますか。（1つ選択）

- 投稿受付時に、原稿がプレプリントかどうかのチェックをしているかについては、「チェックしていない」が81.2%、「チェックしている」が18.8%であった。

N=483

単位：%



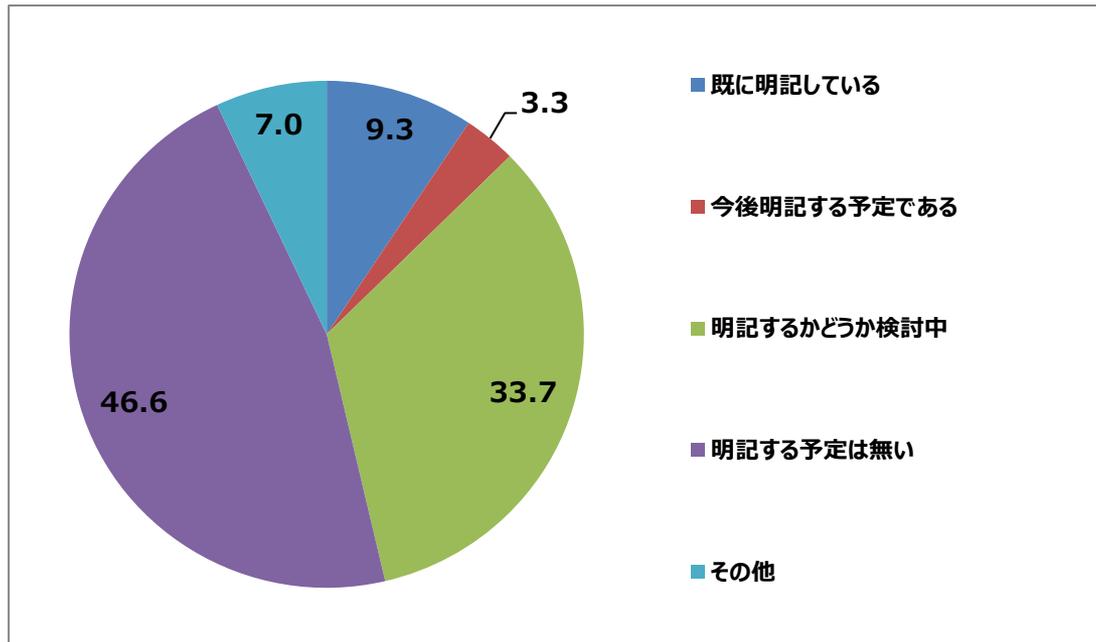
## ■プレプリント方針の明記予定

問20. プレプリントに関する方針を（認める、認めないに関わらず）投稿規程に明記する予定はありますか。（1つ選択）

- プレプリントに関する方針を投稿規程に明記する予定については、「明記する予定は無い」が46.6%と最も高く、次いで「明記するかどうか検討中」の33.7%、「既に明記している」の9.3%の順に続いている。

N=483

単位：%



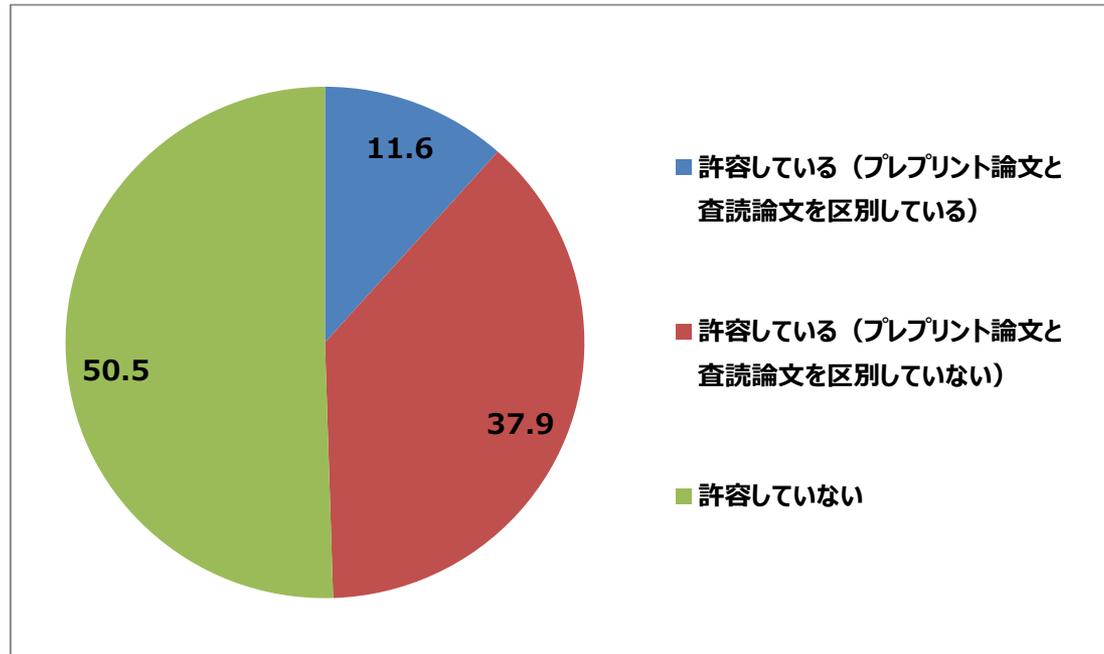
# ■プレプリント論文引用の許容状況

問21. 貴誌掲載の論文において、プレプリント論文を引用することを許容していますか。(1つ選択)

- プレプリント論文の引用については、「許容していない」が50.5%と約半数を占めた。

N=483

単位：%



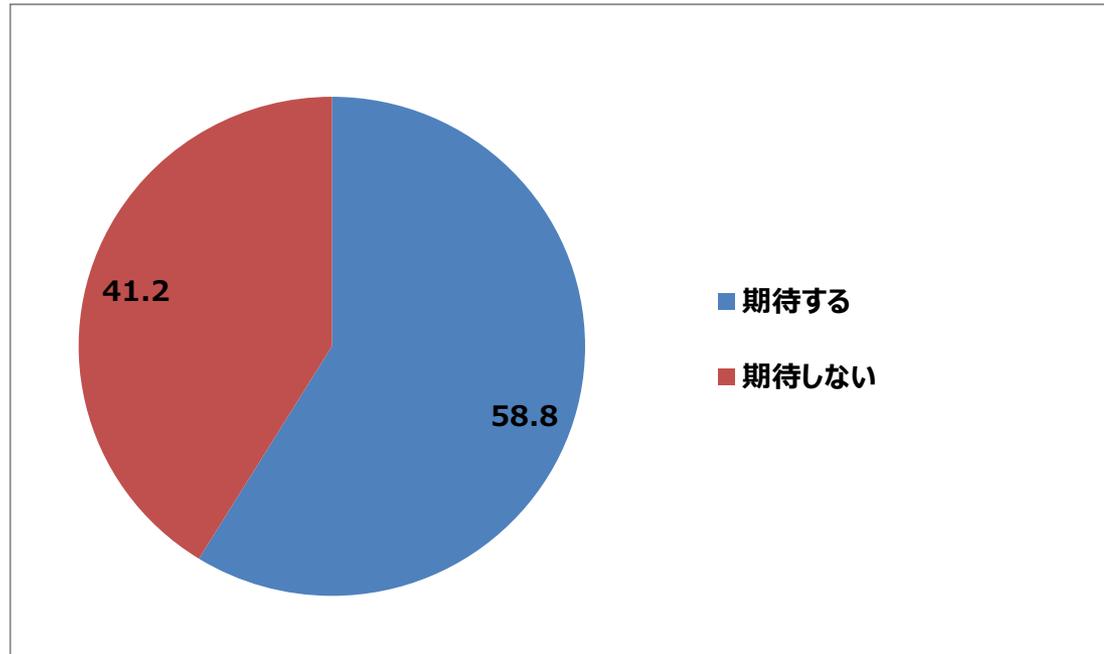
# ■プレプリントサーバ連動サービスへの期待

問22. JSTがプレプリントサーバを立ち上げた場合、J-STAGEとの連動サービスを期待しますか。(1つ選択)

- JSTがプレプリントサーバを立ち上げた場合のJ-STAGEとの連動サービスへの期待については「期待する」が58.8%、一方、「期待しない」が41.2%であった。

N=483

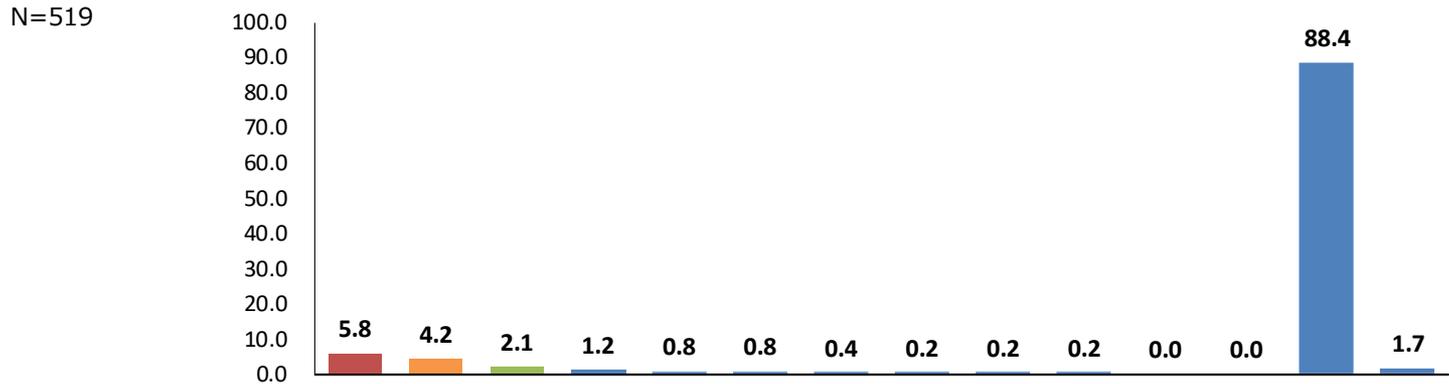
単位：%



# ■よく利用しているプレプリントサーバ

問23. 貴誌の分野でよく利用されるプレプリントサーバは何ですか。(複数選択可)

- よく利用されるプレプリントサーバについては、全体の88.4%が「特にない・わからない」を選んでおり、利用している中でのプレプリントサーバは「ArXiv」が5.8%、「bioRxiv」が4.2%、「medRxiv」が2.1%という結果となっている。



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

N	ArXiv	bioRxiv	medRxiv	ChemRxiv	TeChRxiv	PreprintLandscape	Research Square	Preprints.org	INARxiv	COS	Preprints	ArXiv Preprints	特にない・わからない	その他
全体	519	5.8	4.2	2.1	1.2	0.8	0.8	0.4	0.2	0.2	0.2	0.0	88.4	1.7

※全体値を降順に並び替え

※単位：%

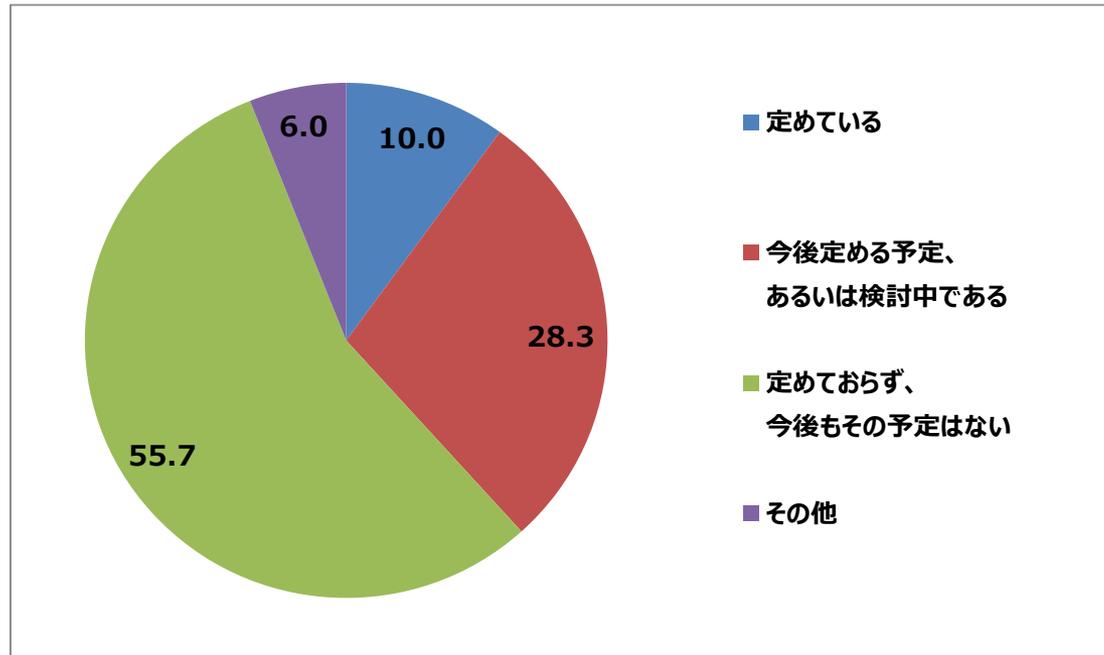
## ■ 研究データの取扱い規程有無

問24. 貴誌では、論文に関連する研究データの保存・公開等について投稿規程等で定めていますか。規程をWebサイト上に公開している場合は、そのURLをご記入ください。（1つ選択）

- 研究データの取扱い規程については、「定めておらず、今後もその予定はない」という回答が55.7%で最も多い。一方、「定めている」との回答は、全体の10.0%であった。

N=519

単位：%



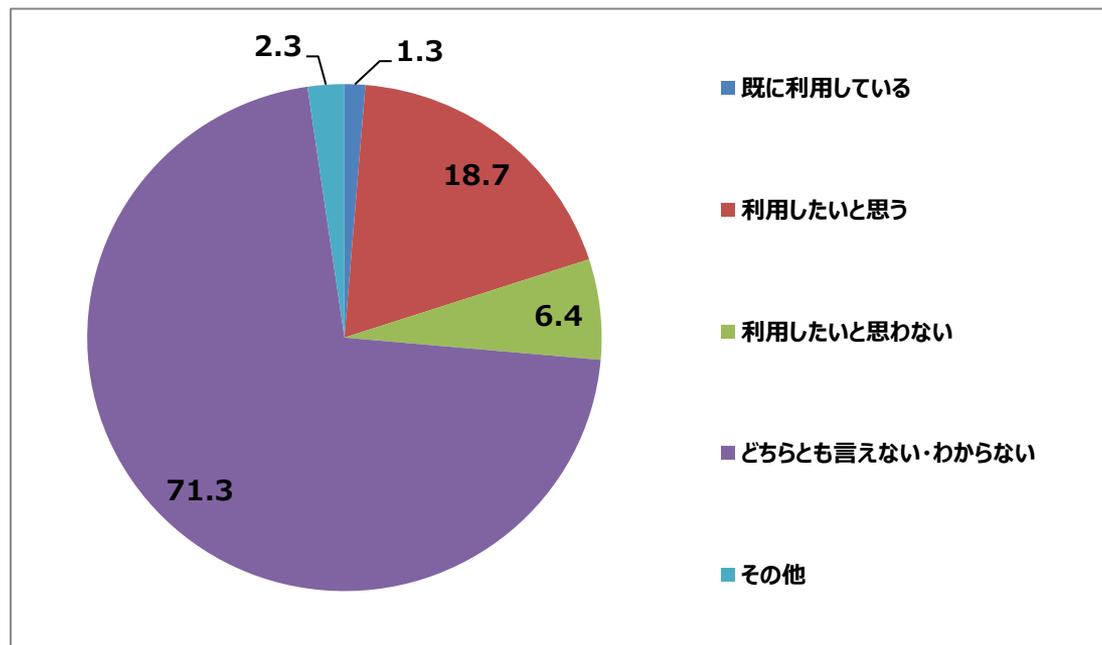
# ■ データリポジトリ 利用意向

問25. J-STAGEでは、論文記事とその根拠となるデータをリンクさせて公開するデータリポジトリ「J-STAGE Data」を提供しています。貴誌でもJ-STAGE Dataを利用したいと思いますか。（1つ選択）

- データリポジトリの利用意向は、「どちらとも言えない・わからない」という回答が 71.3%で最も多い。利用者は1.3%、利用意向者は、全体の18.7%であった。

N=519

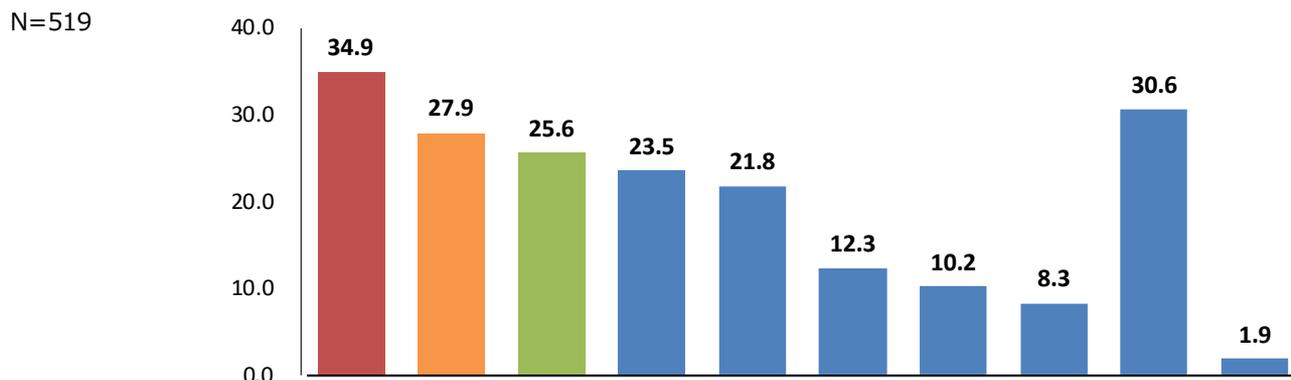
単位：%



# ■役に立ちそうな機能

問26. J-STAGEでは新たなサービスの提供を検討しています。貴誌にとって役に立ちそうなものを選択してください。（複数選択可）

- 自誌にとって役に立ちそうな機能は、「和文誌における英語および中国語の機械翻訳機能」が34.9%と最も高く、次いで「ジャーナルの利用状況を把握できるダッシュボード」の27.9%、「書誌事項（タイトル・抄録等）の機械翻訳」の25.6%の順が続いている。「特になし・わからない」という回答は30.6%であった。



機能	N	選定率 (%)									
		和文誌における英語および中国語の機械翻訳機能	ジャーナルの利用状況を把握できるダッシュボード	書誌事項（タイトル・抄録等）の機械翻訳	優れた論文を纏めて発信できるサービス（ジャーナル）	研究データ論文を発信できるサービス（データジャーナル）	ORCIDとの連携	マーケティング分析機能	プレプリントを公開するサービス	特になし・わからない	その他
全体	519	34.9	27.9	25.6	23.5	21.8	12.3	10.2	8.3	30.6	1.9

n=30以上で  
■ 項目内で1位  
■ 項目内で2位  
■ 項目内で3位

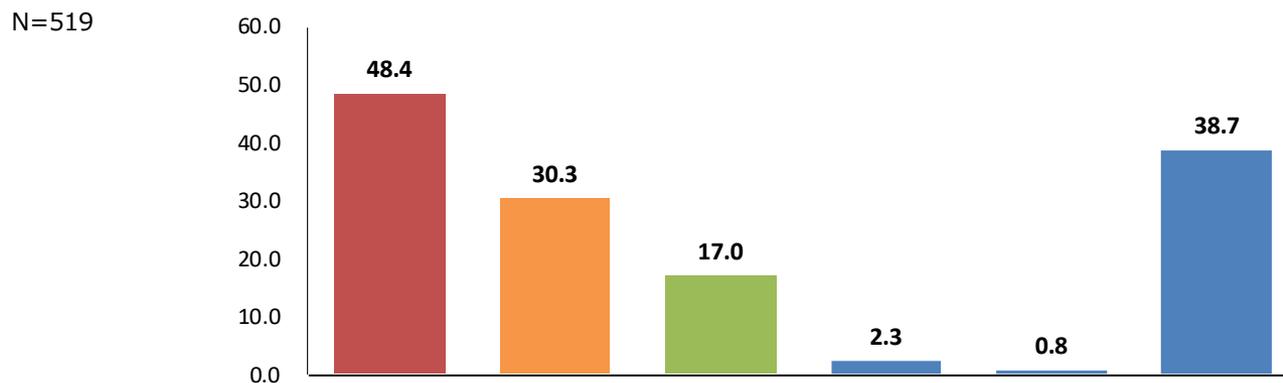
※全体値を降順に並び替え  
 ※単位：%

# ■ 広報媒体・イベントでよく閲覧するもの

問27. J-STAGEの運営する広報媒体・イベントのうち、よくご覧になる（参加する）ものを選択してください。（複数選択可）

- 広報媒体・イベントのうち、よく閲覧する（参加する）ものについては、「発行機関へのお知らせメール」が48.4%、「J-STAGEニュース」が30.3%、「J-STAGEセミナー」が17.0%という結果となっている。

※順位表示はその他を除く



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

	N	発行機関へのお知らせメール	J-STAGEニュース	J-STAGEセミナー	YouTube	Twitter	その他
全体	519	48.4	30.3	17.0	2.3	0.8	38.7

※全体値を降順に並び替え

※単位：%